

# 全盲に成りながらの

## 国学者 塙 保己一の生涯

…偉人の国内歴史資料の発掘と

保存への努力ある生き方…

令和4年

日時

1月20日(木)受付 13:20

講演 13:50~16:10

会場

行田市総合体育館 2階研修室

定員：120名



江戸時代の中頃、武蔵国児玉郡木野村（現在の本庄市児玉町）の百姓の家に生まれた塙 保己一は、肝の病から7歳で失明してしまう。しかし、持ち前の志の高さからハンディキャップに屈することなく、手の平に指で字を書いてもらい文字を習得する。



15歳になると自立するために単身江戸に出て、盲目の人々の会である当道座に入門。その後、歌学者・萩原宗固

（おぎはら、むねくに）は同業者 加藤素淵（かとう、もとふみ）

講師

野口 泰宣（のぐち やすのり）先生

本庄市 塙 保己一記念館 資料・解説担当